

三宅流監督の作品上映会および講演会

究竟の地 - 岩崎鬼剣舞の一年



岩手県北上市の、岩崎という農村地域に古くから伝わる郷土芸能「岩崎鬼剣舞」。岩崎に生きる人々の一年を追い続けたドキュメンタリー。鬼剣舞の人々の多くは兼業農家で、大工や職人が多く、日々の労働をこなしながら、公演活動や、後進の指導にあたっている。岩崎では、鬼剣舞の人のみならず、地域の人たちは保育園や小学校から鬼剣舞を習うので、ここに住む人たちは皆鬼剣舞を体験しており、踊ることができる。生活と密接に繋がっている芸能と、地域の人々全体で共有される芸能の姿は、現代社会に生き、共同体、身体性を失いつつある私たちに普遍的な問題提起を投げかける。

究竟の地 - 岩崎鬼剣舞の一年
(2008/ DV/ 161min/ カラー)
製作：愛知芸術文化センター
監督・撮影・編集：三宅流
語り：豊川潤 / 整音：種子田郷
出演：岩崎鬼剣舞保存会ほか

三宅流監督のプロフィール
1974年生まれ。身体表現をモチーフにした作品が多い。国内ではイメージフォーラム・フェスティバル、キリンアートアワード、ゆふいん記録・文化映画祭松川賞など、数々の賞を受賞。国外ではモントリオール国際映画祭ほか、海外十数カ所で作品が上映されている。最近、22歳の能面打ちを描いた『面打』がDVD化され、大きな話題を呼んでいる。

※本企画は新潟大学人文学部講義「超域文化論」の特別プログラムです。

日時 2009年12月13日(日) 午後1時開演

場所 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

(新潟駅より徒歩3分、PLAKA 1、2階、※ジュンク堂の上の階になります)

入場無料 (定員100名)

主催 新潟大学人文学部

協力 新潟・市民映画館シネ・ウインド
NPO法人新潟絵屋

お申し込み、お問い合わせ先
電話 025-262-7254 / 090-6219-1128 (鈴木)
メール masamis2004@yahoo.co.jp